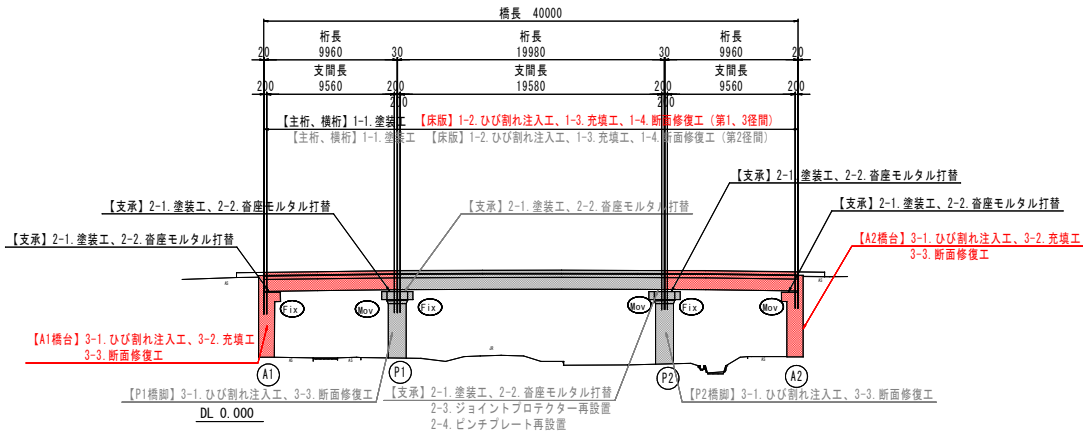


車道部：補修計画一般図

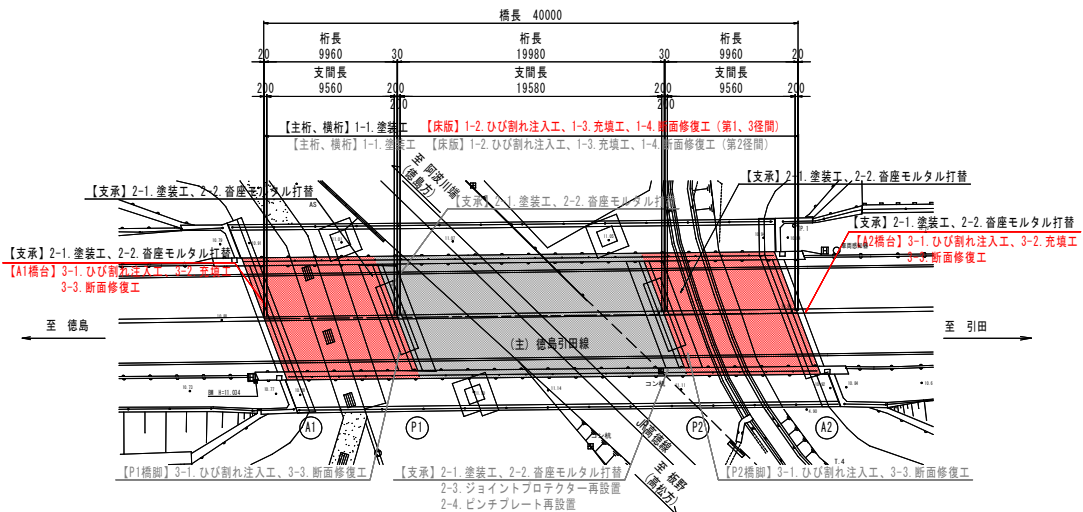
上部工および下部工

凡例
赤文字：徳島県施工
グレー文字：JR施工

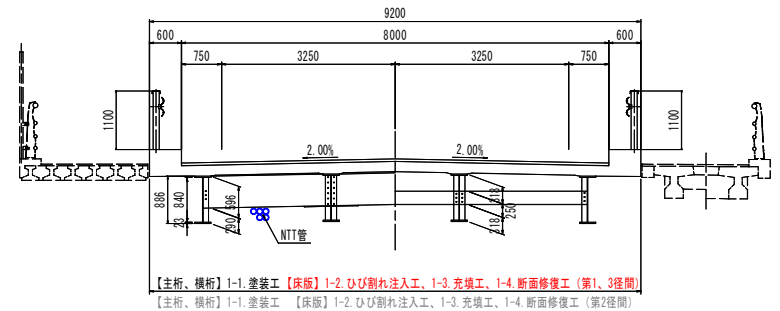
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



車道部 部材別補修計画

工種	部材	第1径間	第2径間	第3径間
		1. 塗装工	1. 塗装工	1. 塗装工
1. 上部工	主桁	1. 塗装工	1. 塗装工	1. 塗装工
	横桁	1. 塗装工	1. 塗装工	1. 塗装工
	床版	2. ひび割れ注入工 3. ひび割れ充填工 4. 断面修復工	2. ひび割れ注入工 3. ひび割れ充填工 4. 断面修復工	2. ひび割れ注入工 3. ひび割れ充填工 4. 断面修復工
	支承	1. 塗装工 2. 音座モルタル打替 3. ジョイントプロテクター再設置 4. ピンチプレート再設置	1. 塗装工 2. 音座モルタル打替 3. ジョイントプロテクター再設置 4. ピンチプレート再設置	1. 塗装工 2. 音座モルタル打替 3. ジョイントプロテクター再設置 4. ピンチプレート再設置

工種	部材	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台
		3. 下部工	1. ひび割れ注入工 2. ひび割れ充填工 3. 断面修復工	1. ひび割れ注入工 3. 断面修復工	1. ひび割れ注入工 3. 断面修復工

板野跨線橋(車道部) 橋梁概元		
橋梁名	板野跨線橋	
規格、活荷重	一等橋 (TL-20)	
橋長	40m	
支間長	1径間	9,560m
	2径間	19,580m
	3径間	9,560m
幅員	8.0m (有効幅員)	
上部工形式	鋼版桁橋	
下部工形式	逆T式橋台 張出橋脚	
基礎形式	杭基礎	
竣工年度	昭和50年(1975年)9月 竣工後41年	
示方書	昭和47年(1972) 道路橋示方書	

実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線・川橋 橋梁補修工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町川橋(板野跨線橋)
図面名	車道部：補修計画一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 15
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)

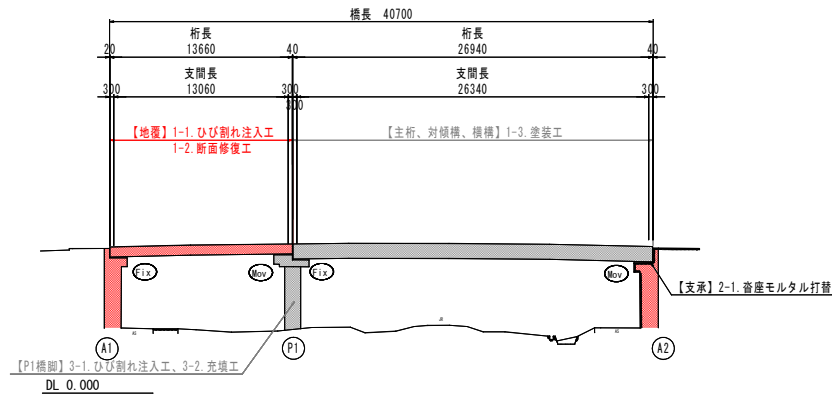
上り車線側歩道部：補修計画一般図

上部工および下部工

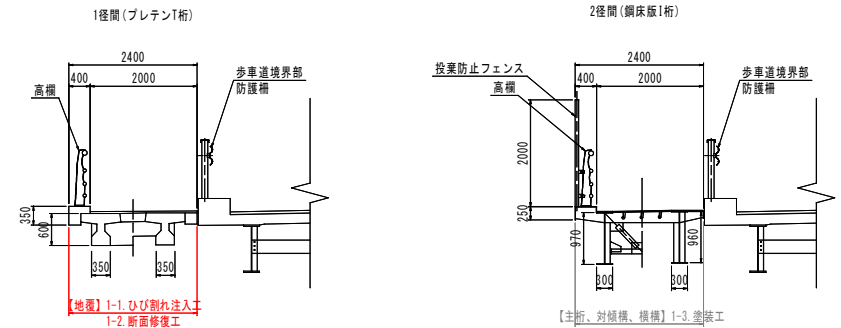
凡例

赤文字：徳島県施工
グレー文字：JR施工

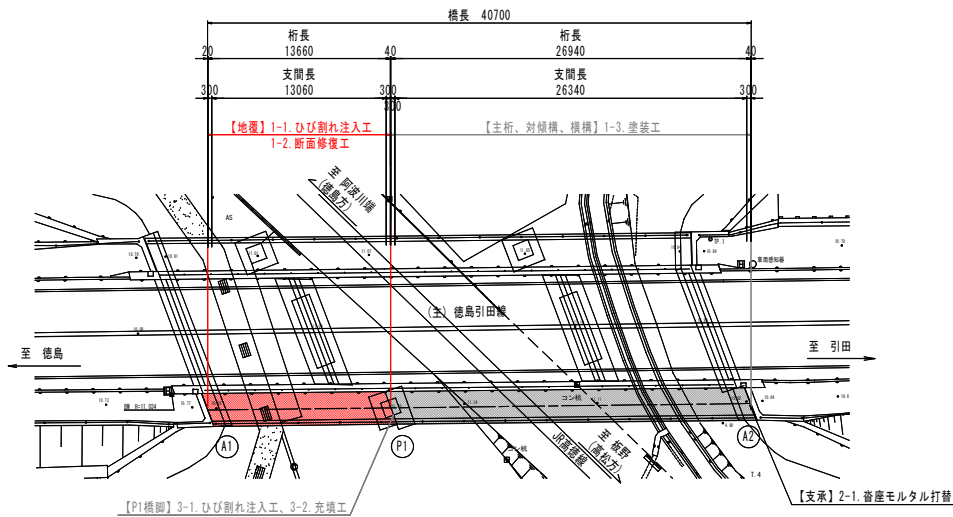
側面図 S=1:200



断面図 S=1:50



平面図 S=1:200



上り車線側歩道部 部材別補修計画

1. 上部工	部材別補修計画	
	第1径間	第2径間
地覆	1. ひび割れ注入工 2. 断面修復工	-
主桁	-	3. 塗装工
対傾構	-	3. 塗装工
横構	-	3. 塗装工
2. 支承	1. 音座モルタル打替	

3. 下部工	部材別補修計画	
	A1, A2橋台	P1橋脚
躯体	※車道部に計上。	1. ひび割れ注入工 2. ひび割れ充填工

板野跨線橋(上り車線側歩道部) 橋梁補元		
橋梁名	板野跨線橋	
橋格、活荷重	群集荷重	
橋長	40.7m	
1径間	13.06m	
支間長	2径間 26.34m	
幅員	2.0m (有効幅員)	
上部工形式	プレテンT桁 鋼床板1桁	
下部工形式	逆T式橋台 張出橋脚	
杭基礎形式	杭基礎	
竣工年度	平成3年(1991年)3月 竣工後25年	
示方書	昭和55年(1980) 道路橋示方書	

実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川端 橋梁塗装工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	上り車線側歩道部：補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

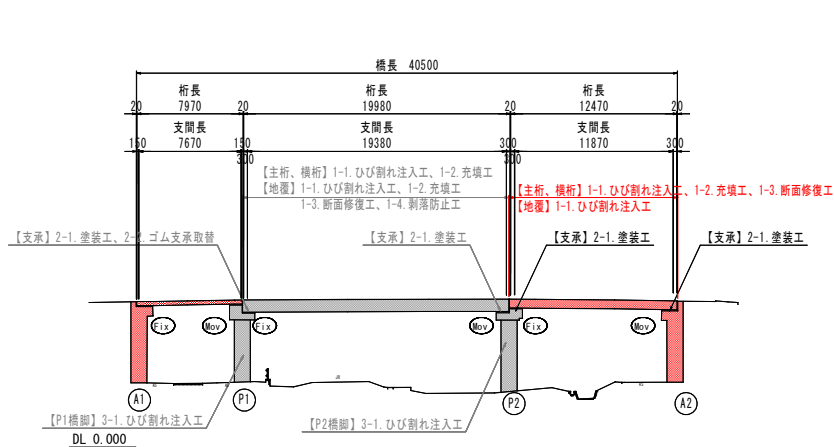
下り車線側歩道部：補修計画一般図

上部工および下部工

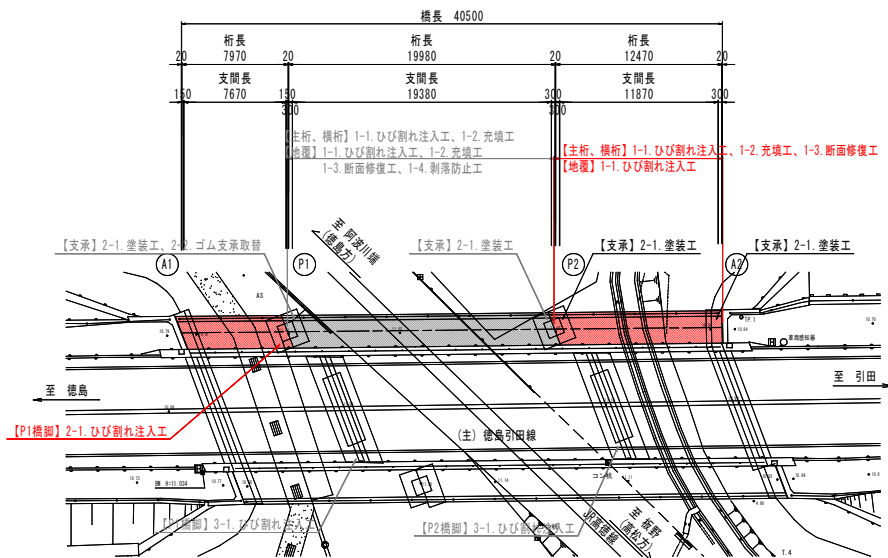
凡例

赤文字：徳島県施工
グレー文字：JR施工

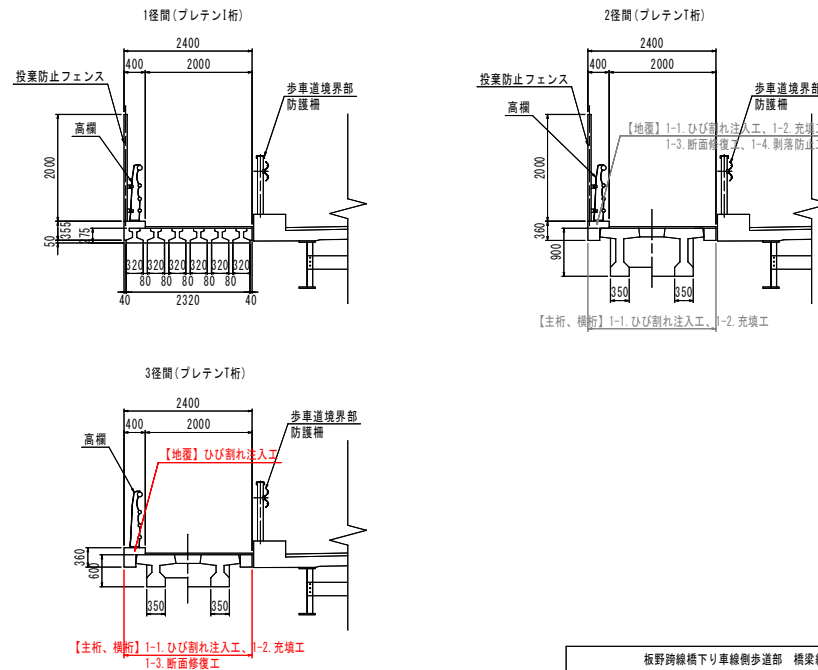
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



		第1径間	第2径間	第3径間
1. 上部工	地覆	-	1. ひび割れ注入工 2. ひび割れ充填工 3. 断面修復工 4. 剥落防止工	1. ひび割れ注入工
	主桁	-	1. ひび割れ注入工	1. ひび割れ注入工 2. ひび割れ充填工
	横桁	-	1. ひび割れ注入工 2. ひび割れ充填工 3. 断面修復工	1. 塗装工
2. 支承			1. 塗装工 2. ゴム支承取替	1. 塗装工
3. 下部工		A1, A2橋台	P1橋脚	P2橋脚
		躯体 ※車道部に計上。	1. ひび割れ注入工	1. ひび割れ注入工

橋梁名	板野跨線橋	
規格、活荷重	群集荷重	
橋長	40.5m	
支間長	1径間	7.67m
	2径間	19.39m
	3径間	11.67m
幅員	2.0m (有効幅員)	
上部工形式	プレテン1桁 プレテン1桁	
下部工形式	逆T式橋台 張出橋脚	
杭基礎形式	杭基礎	
竣工年度	平成元年(1989年)2月 竣工後27年	
示方書	昭和55年(1980) 道路橋示方書	

実施設計図面

工事名	R2徳士 徳島引田線 板・川橋 橋梁補修工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野町板野町川橋(板野跨線橋)
図面名	下り車線側歩道部：補修計画一般図
縮尺	図示 図面番号 3 / 15
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)

補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	HI 1: m	C	22.00m
ひび割れ充填工	HI 2: m	J	0.65m
カッター工	KL: m	-	1.40m
断面修復工(≒1.0m)・ケレン無	DA 1: m ²	D	0.08m ²

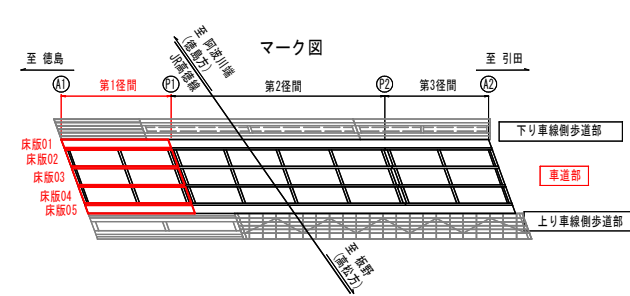
- ・赤線・赤文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D-L:長さ(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)
- ・遊離石灰から連続しているひび割れについては、HI 2 ひび割れ充填工で対応する。

ひびわれ補修工数量
(ひび割れ注入工HI 1 ひび割れ充填工HI 2)

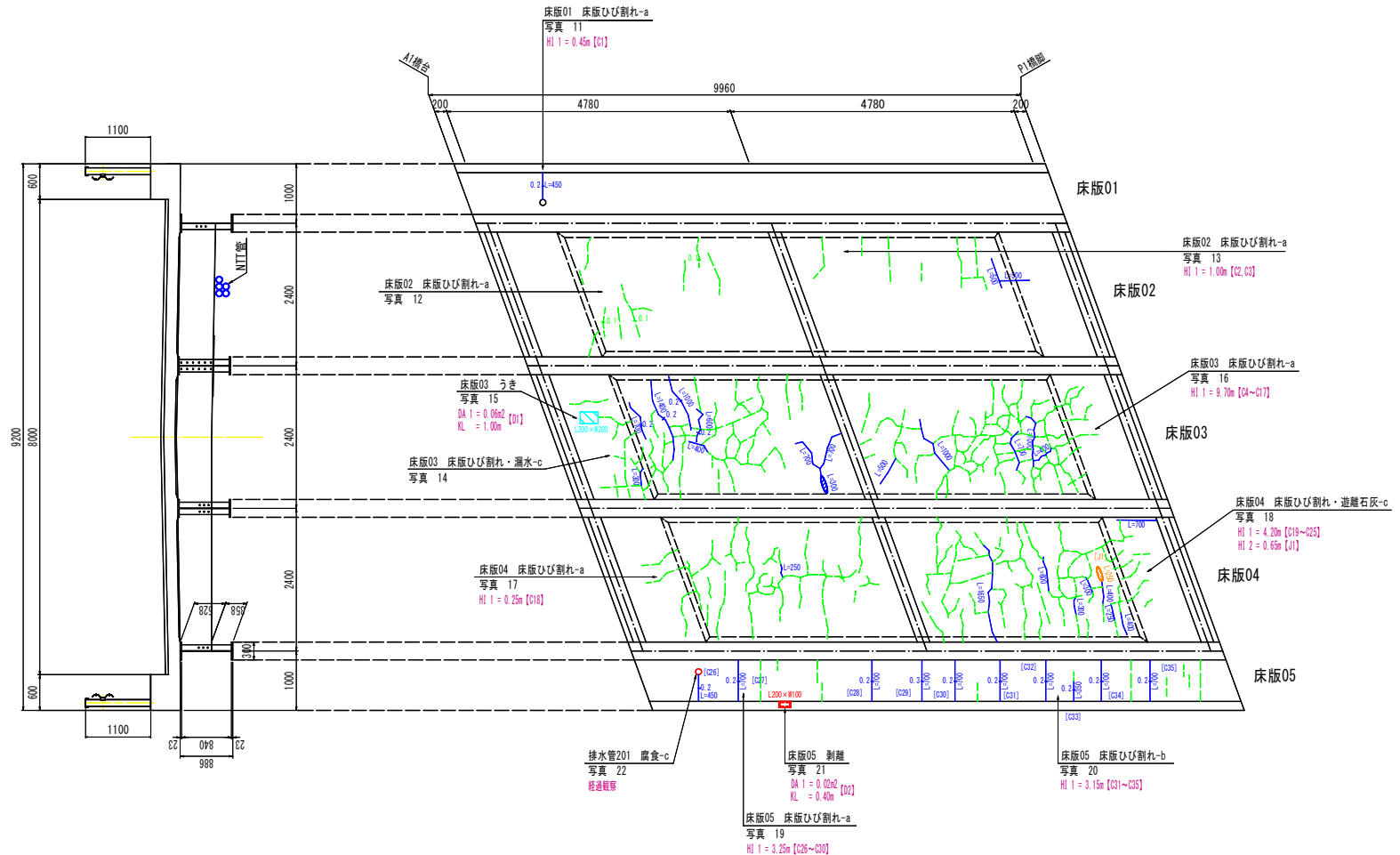
床版部材	HI 1 (m)	HI 2 (m)
床版01	0.45	-
床版02	1.00	-
床版03	9.70	-
床版04	4.45	0.65
床版05	6.40	-

車道部：床版下面補修計画図(その1) S=1:40

第1径間 施工：徳島県



損傷凡例	
0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
菱形・欠損	---
腐食	---
その他	---



実施設計図面

工事名	R2徳島 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	車道部：床版下面補修計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島庁舎〉		

- 注記
- 写真は、板野跨線橋(車道部)1径間損傷写真参照。
 - 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない損傷は、ひび割れ幅0.2mmとする。
 - 0.2mm未満のひび割れは、経過観察とする。

補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	HI 1: m	C	86.50m
カッター工	KL : m	-	1.50m
断面修復工 (I=1.0m) ケレン有	DA 1: m ²	D	0.16m ²
断面修復工 (I=5.4m) ケレン有	DA 2: m ²	D	0.01m ²

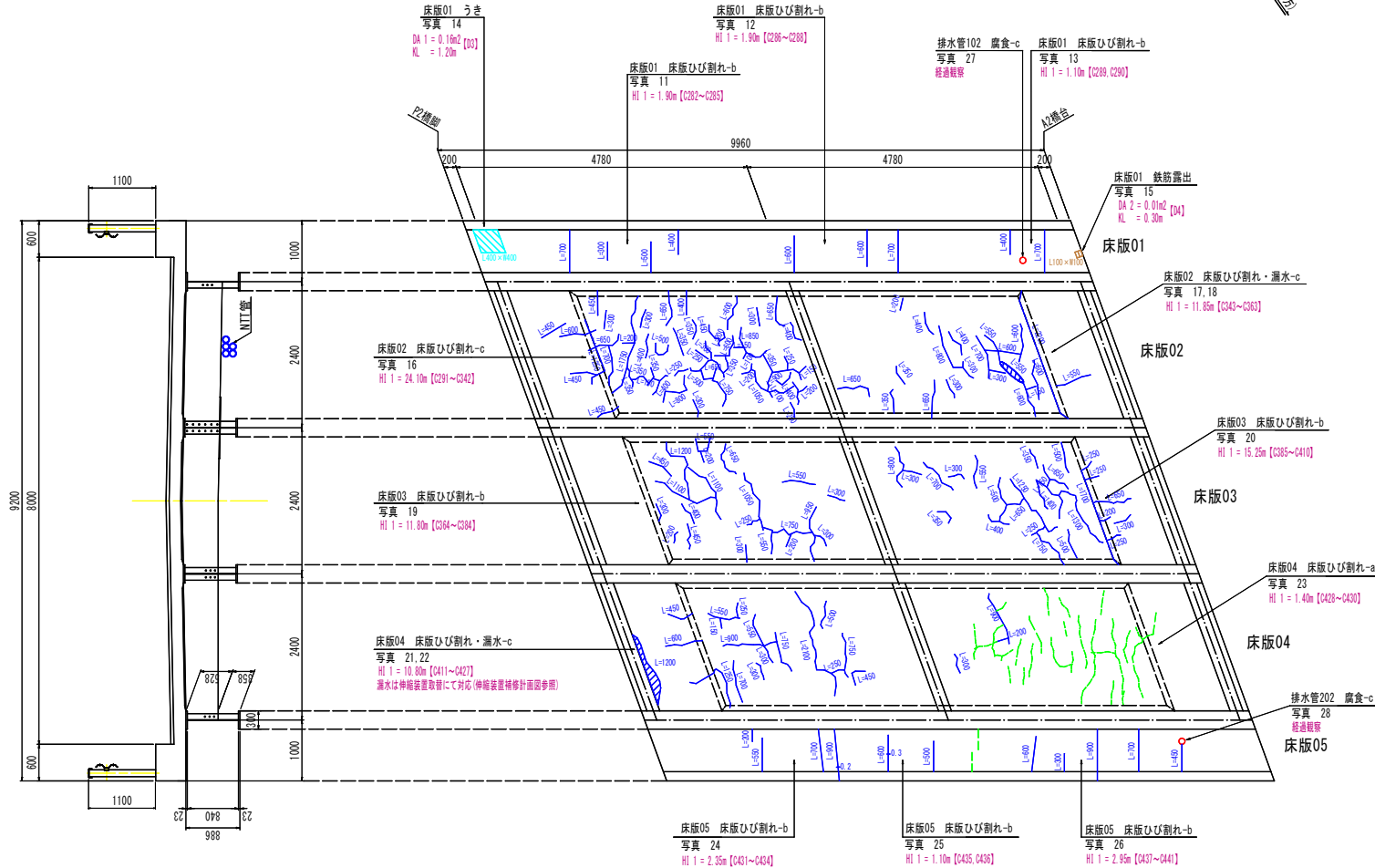
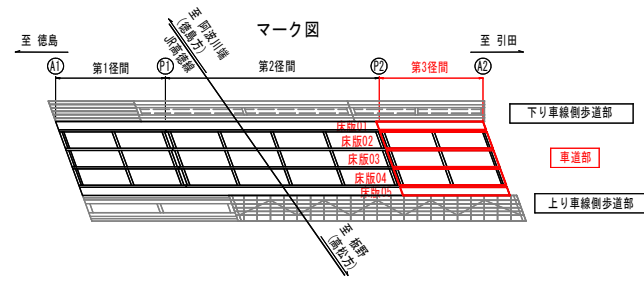
- ・赤線・赤文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所での補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D-L:長さ(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)
- ・遊離石版から連続しているひび割れについては、HI 2 ひび割れ充填工で対応する。

ひびわれ補修工数量
(ひび割れ注入工HI 1)

床版部材	HI 1 (m)
床版01	4.90
床版02	35.95
床版03	27.05
床版04	12.20
床版05	6.40

車道部：床版下面補修計画図(その3) S=1:40

第3径間 施工:徳島県



実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	車道部：床版下面補修計画図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島庁舎〉		

注記)

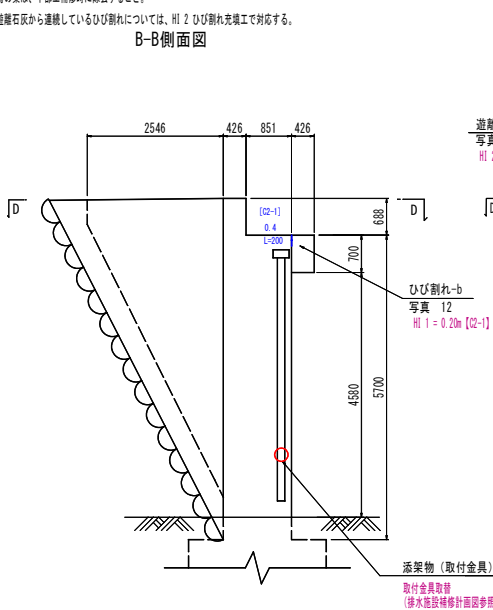
1. 写真は、板野跨線橋(車道部)3径間撮影写真参照。
2. 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない場合は、ひび割れ幅0.2mmとする。
3. 0.2mm未満のひび割れは、経過観察とする。

補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	H1 1: m	C2	61.69m
ひび割れ充填工	H1 2: m	J2	1.30m
カッター工	KL : m	-	5.6m
断面修復工(≒1.0cm)/ケレン無	DA 1: m ²	D2	0.51m ²
断面修復工(≒1.2cm)/ケレン有	DA 3: m ²	-	0.13m ²

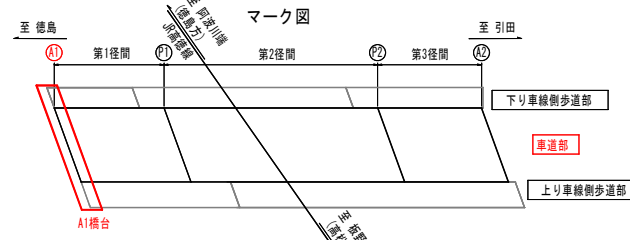
- ・赤線・赤文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算参照)
- ・L x H x W x D→L:長さ(mm) H:高さ(mm) W:幅(mm) D:深さ(mm)
- ・漏水は伸縮装置の取替にて対応する。(伸縮装置詳細図参照)
- ・角の裏は、下部工補修時に除去すること。
- ・遊離石灰から連続しているひび割れについては、H1 2 ひび割れ充填工に対応する。

B-B側面図



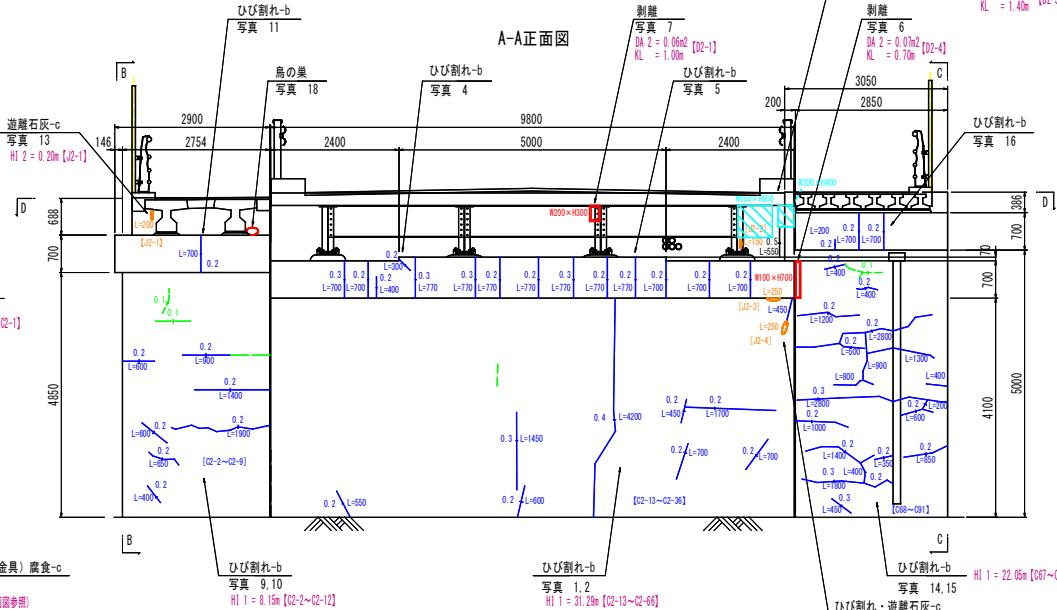
車道部：下部工補修計画図(その1) S=1:50

A1橋台 施工:徳島県

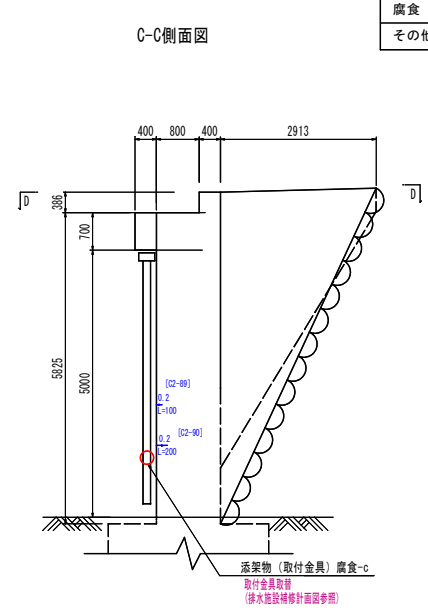


損傷凡例

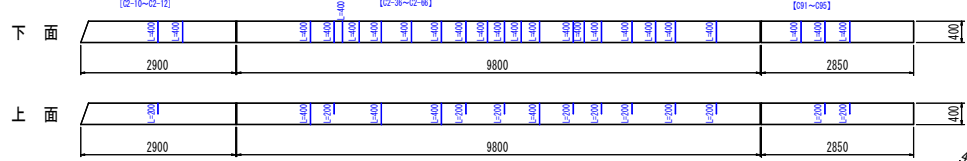
0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
菱形・欠損	---
腐食	---
その他	---



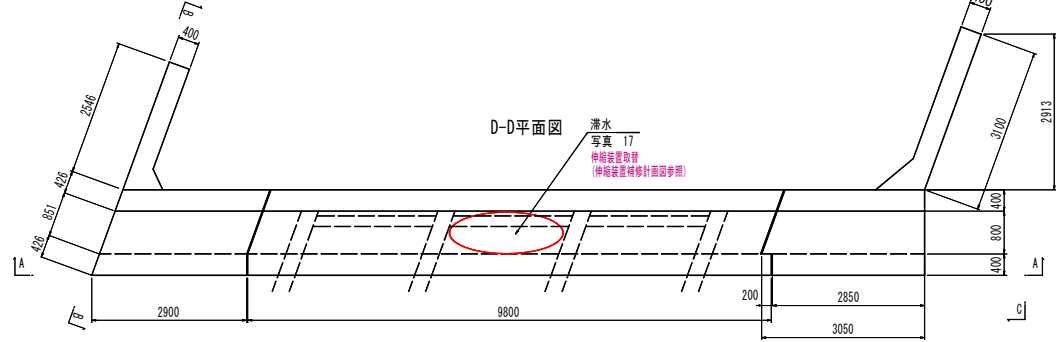
C-C側面図



縁端拡幅部



D-D平面図



実施設計図面

工事名	R2徳島 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	車道部：下部工補修計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

- 注記
1. 写真は、板野跨線橋(車道部) A1橋台損傷写真参照。
 2. 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない損傷は、ひび割れ幅0.2mmとする。
 3. 0.2mm未満のひび割れは、経過観察とする。

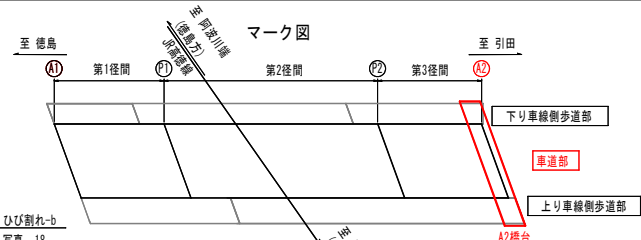
補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	H1 1: m	C2	47.96m
ひび割れ充填工	H1 2: m	J2	0.90m
カッター工	KL : m	-	5.05m
断面修復工(≧1.0cm)・ケレン無	DA 1: m ²	D2	1.07m ²
断面修復工(≧1.2cm)・ケレン有	DA 3: m ²	-	0.03m ²

- ・赤線・赤紫文字は、補修箇所を示す。
- ・〔 〕は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D-L:長さ(mm) W:幅(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)
- ・漏水は伸縮装置の取替にて対応する。(伸縮装置詳細図参照)
- ・島の臭は、下部工補修時に除去すること。
- ・遊離石灰から連続しているひび割れについては、H1 2 ひび割れ充填工に対応する。

車道部：下部工補修計画図(その4) S=1:50

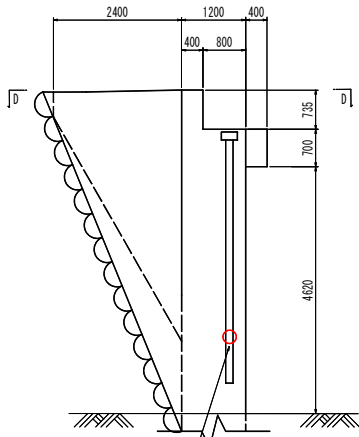
A2橋台 施工:徳島県



損傷凡例

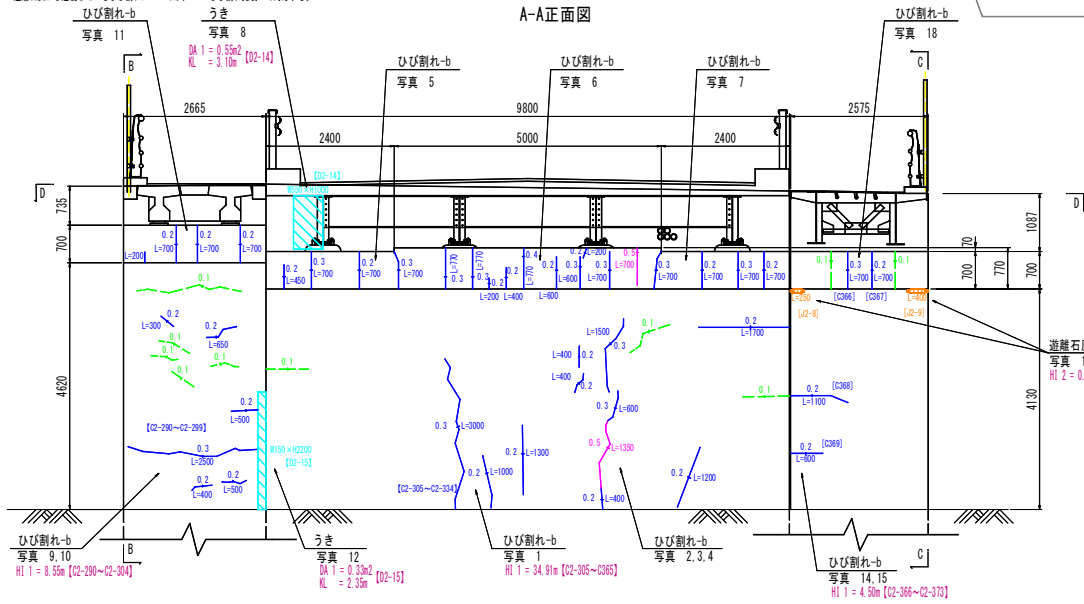
0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
菱形・欠損	---
腐食	---
その他	---

B-B側面図



添架物(取付金具) 腐食-c
写真 13
取付金具取替
(排水施設補修計画図参照)

A-A正面図



ひび割れ-b
写真 9,10
H1 1 = 8.55m [C2-290~C2-304]

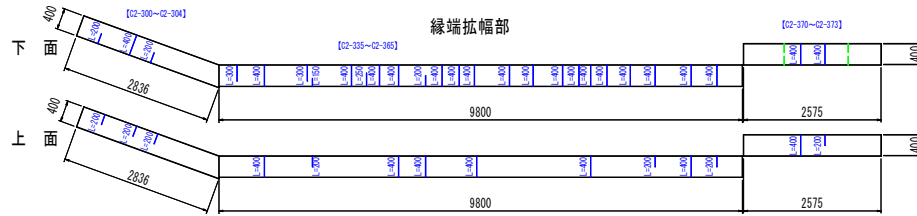
うき
写真 12
DA 1 = 0.33m²
KL = 2.55m [D2-15]

ひび割れ-b
写真 1
H1 1 = 34.91m [C2-305~C365]

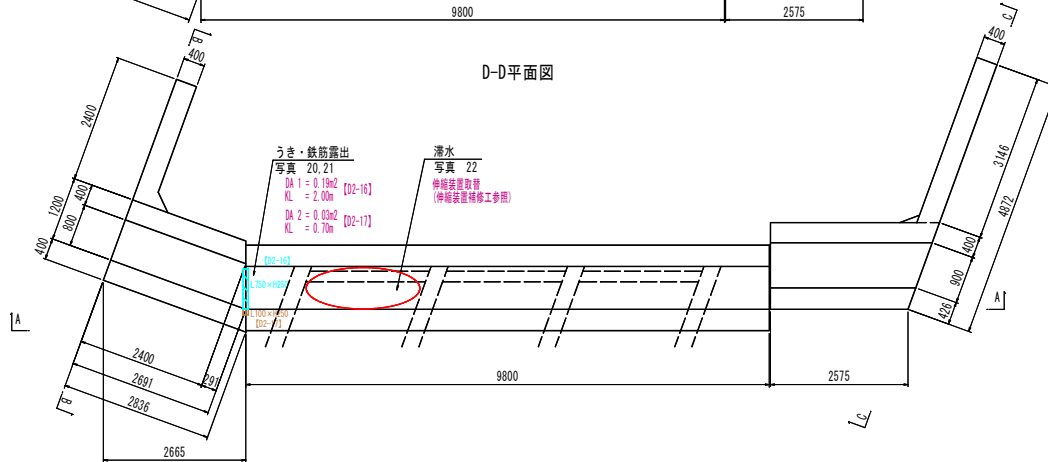
ひび割れ-b
写真 2,3,4

ひび割れ-b
写真 14,15
H1 1 = 4.50m [C2-366~C2-373]

縁端拡幅部



D-D平面図

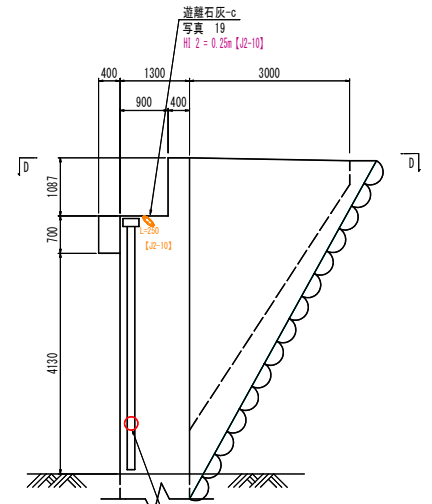


うき・鉄筋露出
写真 20,21
DA 1 = 0.16m²
KL = 2.00m [D2-16]

漏水
写真 22
伸縮装置取替
(伸縮装置詳細図参照)

DA 2 = 0.03m²
KL = 0.70m [D2-17]

C-C側面図



遊離石灰-c
写真 19
H1 2 = 0.25m [C2-10]

遊離石灰-c
写真 16,17
H1 2 = 0.65m [C2-8,C2-9]

添架物(取付金具) 腐食-c
取付金具取替
(排水施設補修計画図参照)

実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川橋 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川橋(板野跨線橋)		
図面名	車道部：下部工補修計画図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

注記

- 写真は、板野跨線橋(車道部) A2橋台撮像写真参照。
- 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない場合は、ひび割れ幅0.2mmとする。
- 0.2mm未満のひび割れは、経過観察とする。

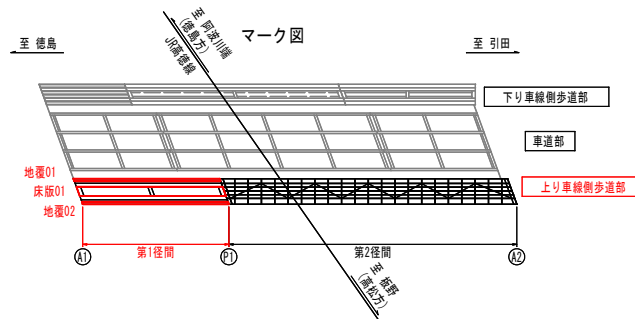
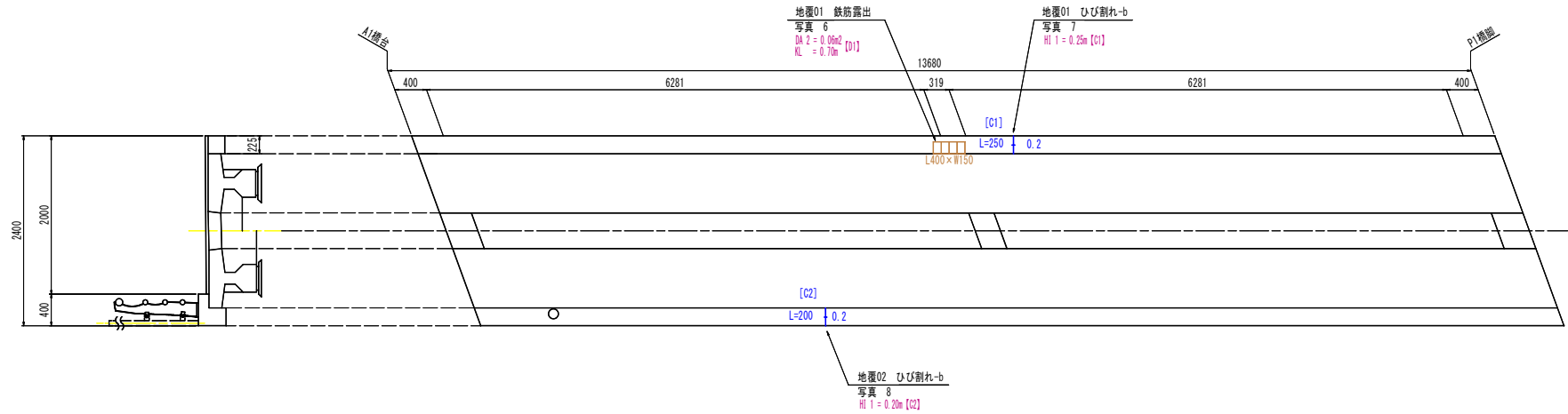
補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	HI 1: m	C	0.45m
カッター工	KL : m	-	0.70m
断面修復工(L=6.4m)/ケレン有	DA 2: m ²	D	0.06m ²

- ・赤線・赤線文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D=L:長さ(mm) H:幅(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)

上り車線側歩道部：床版下面補修計画図(その1) S=1:30

第1区間 施工:徳島県



損傷凡例	
0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
変形・欠損	---
腐食	---
その他	---

実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	上り車線側歩道部：床版下面補修計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

- 注記)
- 写真は、板野跨線橋(上り車線側歩道部)1区間損傷写真参照。
 - 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない場合は、ひび割れ幅0.2mmとする。

補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	H1 1: m	C	1.75m
ひび割れ充填工	H1 2: m	J	3.95m

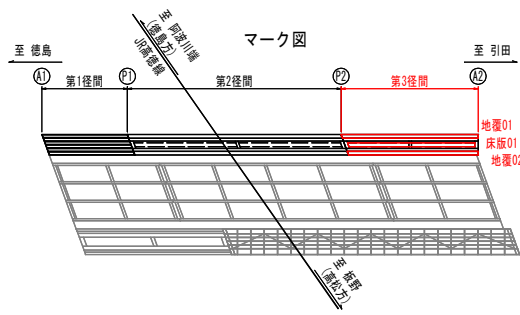
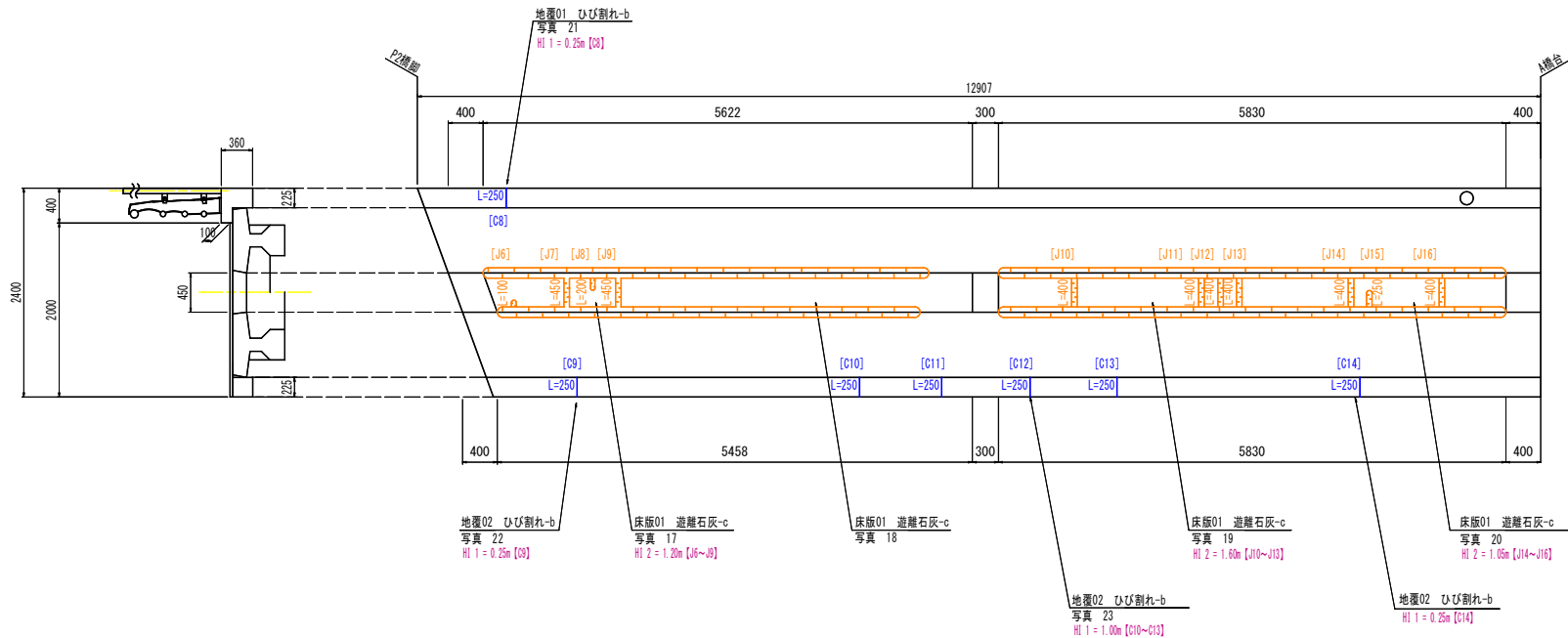
- ・赤紫線・赤紫文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の特修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D=L:長さ(mm) W:幅(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)

下り車線側歩道部：床版下面補修計画図(その3) S=1:30

第3径間 施工：徳島県

間詰部と床版間の遊離石灰は、床版防水工により対応する。(舗装・床版防水工計画図参照)

損傷凡例	
0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
菱形・欠損	---
腐食	---
その他	---



実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	下り車線側歩道部：床版下面補修計画図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

注記

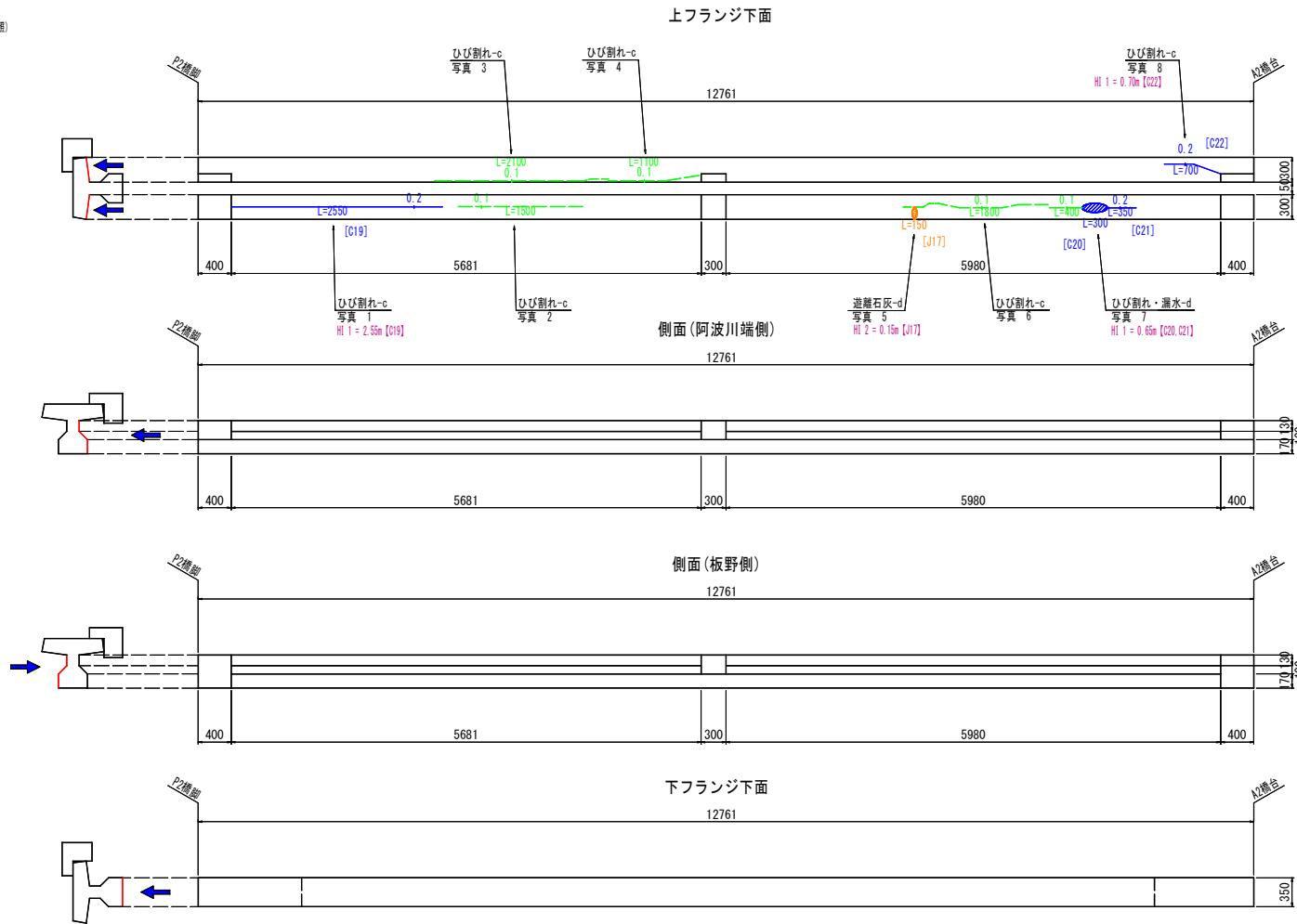
- 写真は、板野跨線橋(下り車線側歩道部) 3径間損傷写真参照。
- 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない場合は、ひび割れ幅0.2mmとする。

補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ注入工	HI 1: m	C	3.90m
ひび割れ充填工	HI 2: m	J	0.15m

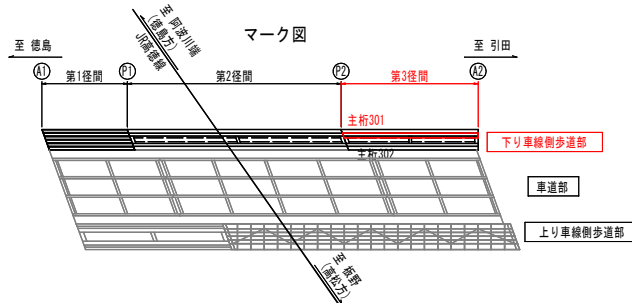
- ・赤線・赤文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D=L:長さ(mm) H:幅(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)

下り車線側歩道部主桁補修計画図(その3) S=1:30
第3径間 主桁301 施工:徳島県



損傷凡例

0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
変形・欠損	---
腐食	---
その他	---



実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川橋 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	下り車線側歩道部主桁補修計画図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	10 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

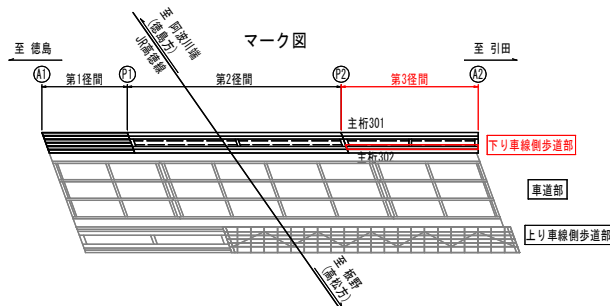
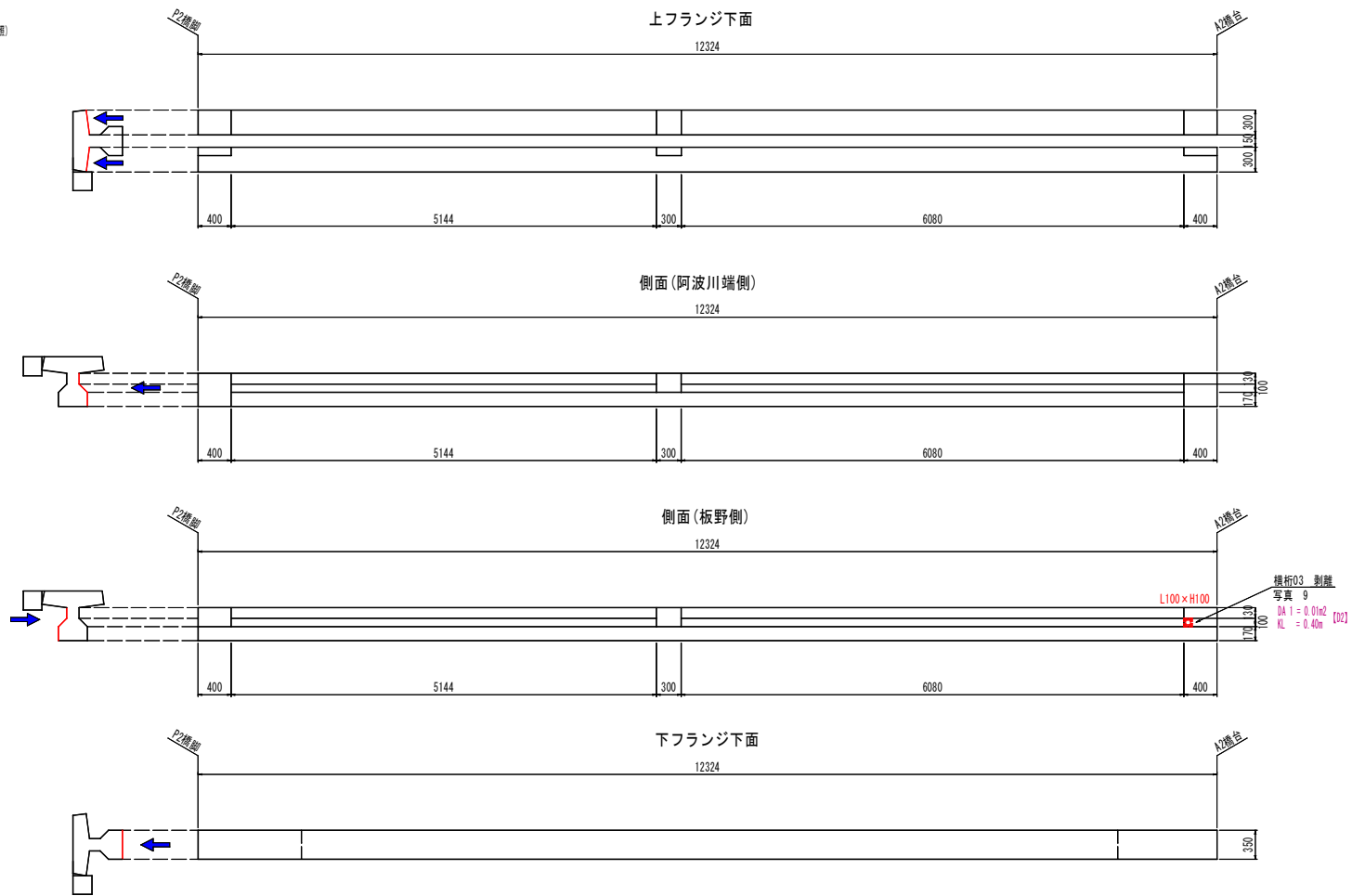
- 【注記】
1. 写真は、板野跨線橋(下り車線側歩道部) 3径間損傷写真参照。
 2. 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない損傷は、ひび割れ幅0.2mmとする。
 3. 0.2mm未満のひび割れは、経過観察とする。

補修工法数量表

補修工法	記号・単位	通し番号	数量
カッター工	KL : m	-	0.40m
断面修復工 (t=1.0cm) / ケレン有	DA 1: m ²	D	0.01m ²

- ・赤線・赤文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D=L:長さ(mm) W:幅(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)

下り車線側歩道部主桁補修計画図(その4) S=1:30
第3径間 主桁302 施工:徳島県



損傷凡例

0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
変形・欠損	---
腐食	---
その他	---

実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川橋 橋梁補修工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町川橋(板野跨線橋)
図面名	下り車線側歩道部主桁補修計画図(その4)
縮尺	図示 図面番号 11 / 15
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)

- 【注記】
- 写真1は、板野跨線橋(下り車線側歩道部) 3径間損傷写真参照。
 - 0.2mm以上のひび割れにおいて、ひび割れ幅の表記がない場合は、ひび割れ幅0.2mmとする。
 - 0.2mm未満のひび割れは、経過観察とする。

補修工法数量表

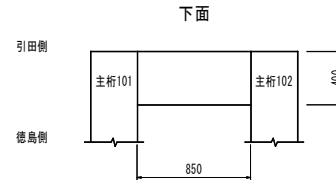
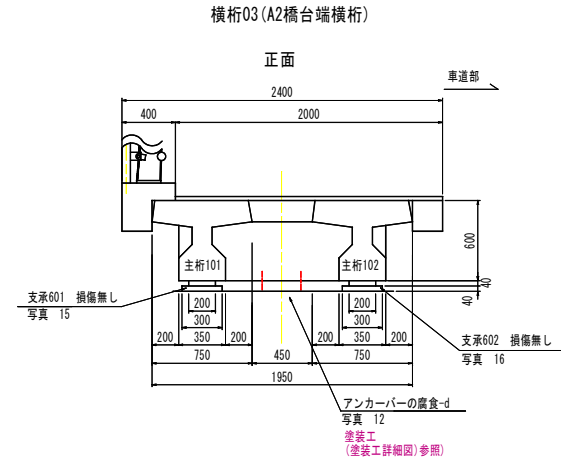
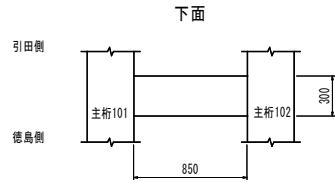
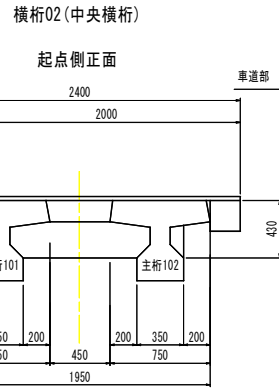
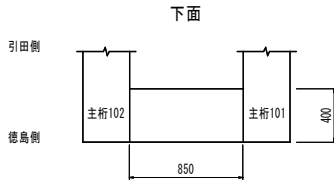
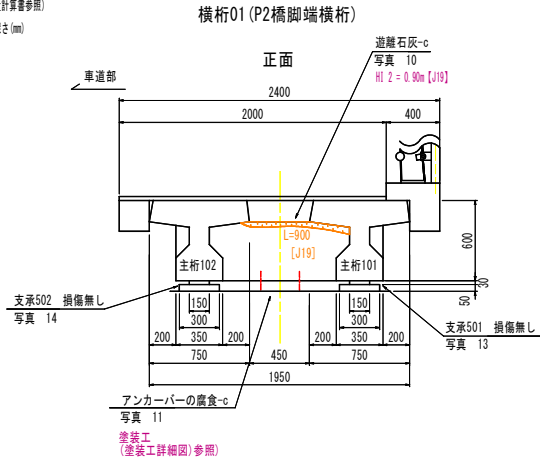
補修工法	記号・単位	通し番号	数量
ひび割れ充填工	H1 2: m	J	0.90m
塗装工 (Rc-Ⅲ塗装系)	To 2: m ²	-	数量計算書参照

- ・赤黄線・赤黄文字は、補修計画を示す。
- ・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)
- ・L x H x W x D=L:長さ(mm) H:幅(mm) H:高さ(mm) D:深さ(mm)

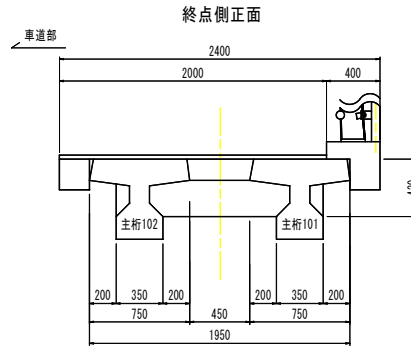
下り車線側歩道部：横桁・支承補修計画図(その2) S=1:20

第3径間 施工：徳島県

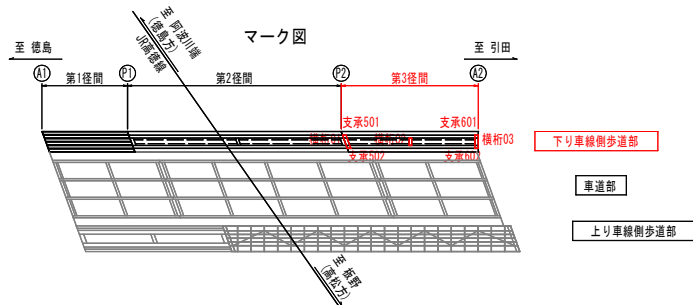
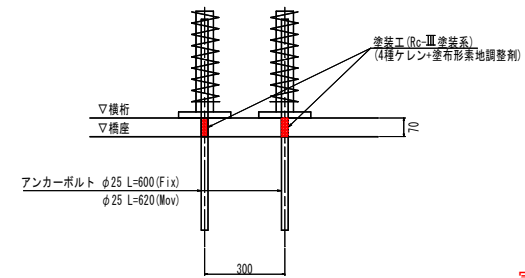
損傷凡例	
0.2mm未満	---
0.2~0.5mm未満	---
0.5~1.0mm未満	---
1.0mm以上	---
腐食(角)	---
鉄筋露出	---
遊離石灰	---
漏水・帯水	---
うき	---
剥離	---
変形・欠損	---
腐食	---
その他	---



横桁02(中央横桁)



塗装工詳細図 S=1:10



実施設計図面

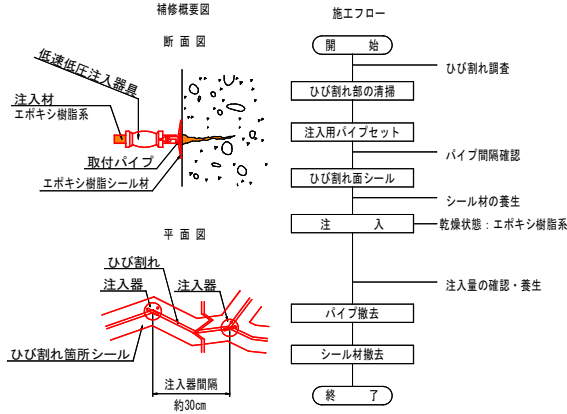
工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川端 橋梁補修工事
路線名等	徳島引田線
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)
図面名	下り車線側歩道部：横桁・支承補修計画図(その2)
縮尺	図示 図面番号 12 / 15
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)

注記
1. 写真は、板野跨線橋(下り車線側歩道部) 3径間損傷写真参照。

補修工法要領図(その1)

ひび割れ補修工(注入工法) : HI 1

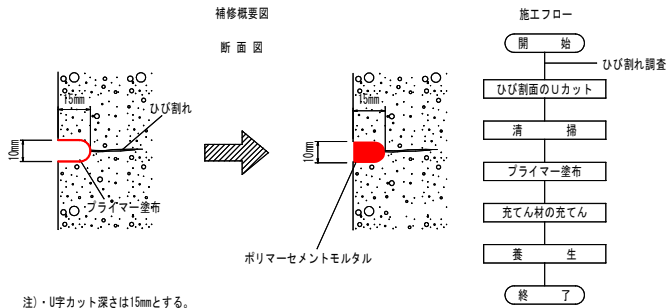
ひび割れ補修工(注入工法)……0.2~1.0mm以上のひび割れにエポキシ樹脂系の材料を注入して、防水性、耐久性を向上させ、劣化因子の進入を防ぐ工法である。



注)・本計画ではひび割れ部が乾燥状態であることから、注入材料としてエポキシ樹脂系を使用する。

ひび割れ補修工(充填工法) : HI 2

ひび割れ補修工(充填工法)……1.0mm以上の比較的大きな幅のひび割れ、および遊離石灰により目詰まりが生じ、ひび割れ注入が困難なひび割れの補修に適する工法で、ひび割れに沿ってU字形にコンクリートをカットし、その部分に補修材を充填する工法である。

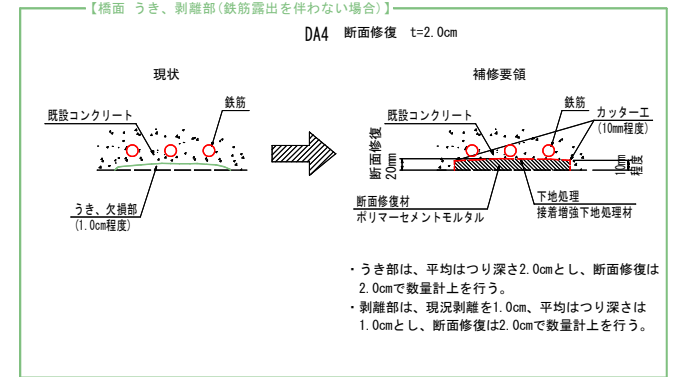
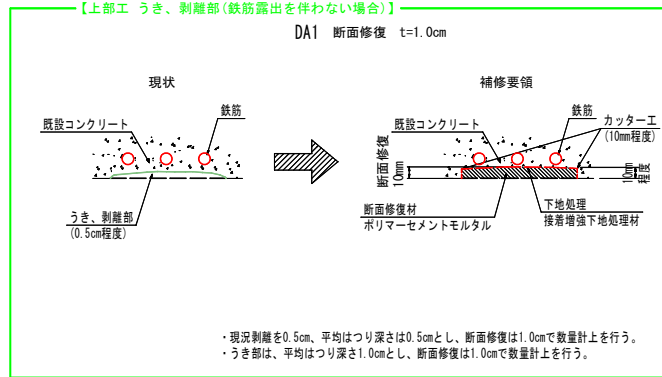


注)・Uカット深さは15mmとする。

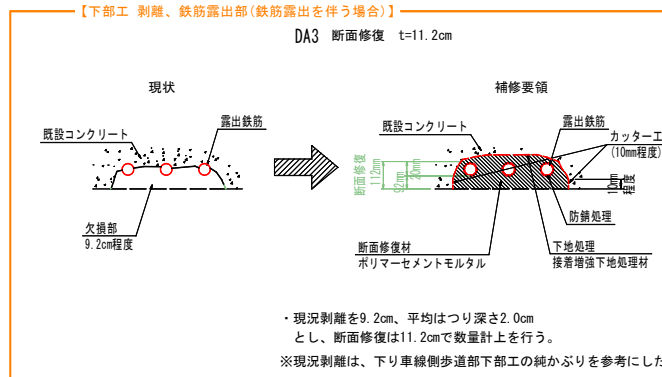
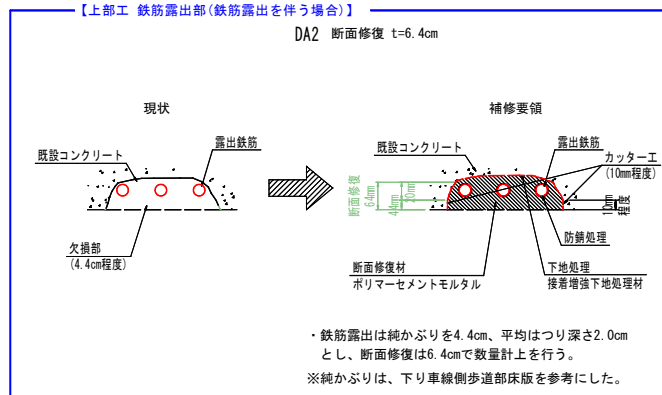
断面修復工(左官仕上げ工法) : DA 1、DA 2

断面修復工……既設コンクリートのうき、剥離、鉄筋露出箇所に対し、劣化コンクリート部を除去した後に、ポリマーセメントモルタルを用いて断面を修復する工法。

補修概要図



注)・断面修復工数量は、打音調査をもとに決定しているが、施工前に再度打音調査を実施し、損傷箇所を特定すること。
・鉄筋露出部は、鉄筋のケレンを行い防錆処理を行うこと。



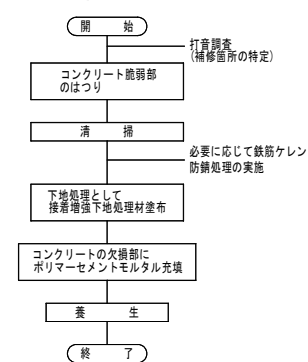
※剥落防止工 参考とする工法: タフガードQ-R工法

跨線部における断面修復工の処理・・・跨線部における断面修復箇所を対象に、剥落防止を目的とする。

参考とする工法: タフガードQ-R工法

塗装工程	塗料名	標準塗布量	膜厚	塗布間隔(20° C)
素地調整	エポキシ系ポリマーセメントモルタル	1.0~2.0kg/m ²	-	16時間~14日
プライマー	エポキシ樹脂系水性ウレタンプライマー	0.04kg/m ²	-	2時間~5日
中塗	ウレタン/ウレア樹脂	1.4kg/m ²	1000μm	2時間~3日
上塗	柔軟型ふっ素系樹脂塗料上塗り 又は 柔軟型ポリウレタン樹脂塗料上塗り	0.12kg/m ²	30μm	-

施工フロー

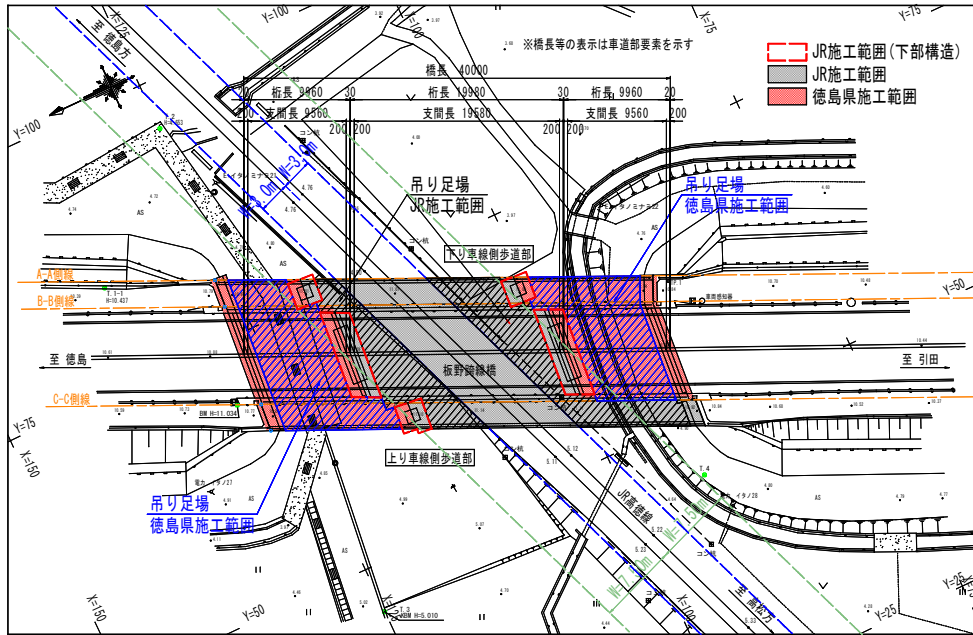


実施設計図面

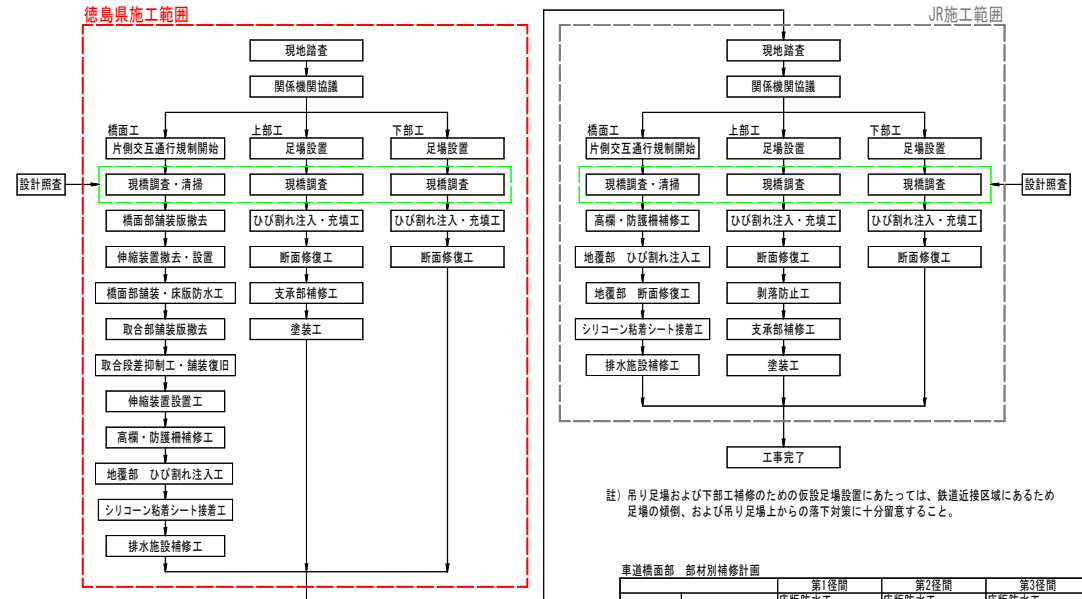
工事名	R2徳土 徳島引田線 板・川橋 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川橋(板野跨線橋)		
図面名	補修工法要領図(その1)		
縮尺	-	図面番号	13 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

施工計画図(その1)

平面図 S=1:250

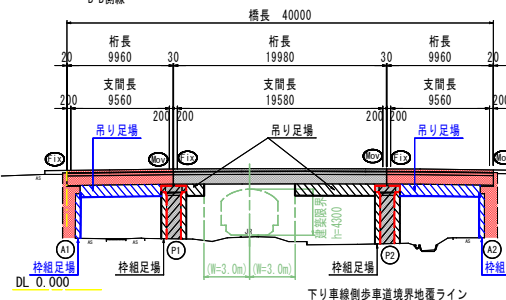


施工フローチャート



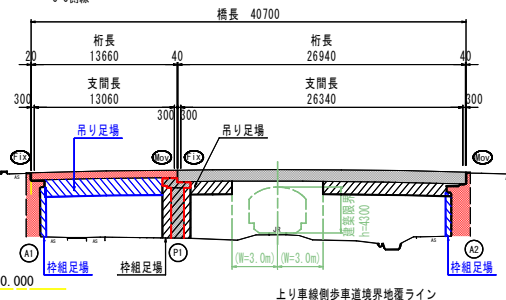
注) 吊り足場および下部工補修のための仮設足場設置にあたっては、鉄道近接区域にあるため足場の傾倒、および吊り足場上からの落下対策に十分留意すること。

車道部側面図 S=1:250



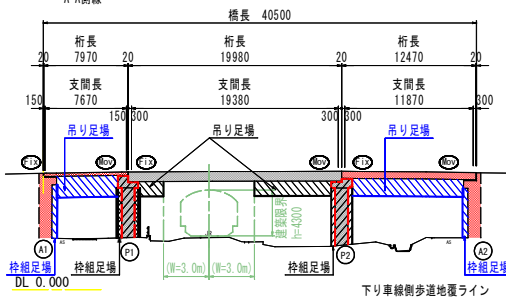
注) 線路中心からW=3.0mの範囲に抵触する拵足場は、即日設置撤去とすること。

上り車線側歩道部側面図 S=1:250



注) 線路中心からW=3.0mの範囲に抵触する拵足場は、即日設置撤去とすること。

下り車線側歩道部側面図 S=1:250



注) 線路中心からW=3.0mの範囲に抵触する拵足場は、即日設置撤去とすること。

車道部 部材別補修計画

	第1区間	第2区間	第3区間
上部工	主桁	塗装工	塗装工
	横桁	塗装工	塗装工
支承	床版	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工
	塗装工	塗装工	塗装工
	産産モルタル打替	産産モルタル打替	産産モルタル打替
	ジョイントプロテクター設置	ジョイントプロテクター設置	ジョイントプロテクター設置
	ピンチプレート再設置	ピンチプレート再設置	ピンチプレート再設置

	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台
下部工	躯体	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工

上り車線側歩道部 部材別補修計画

	第1区間	第2区間
上部工	地覆	ひび割れ注入工 断面修復工
	主桁	ひび割れ注入工 断面修復工 制流防止工
支承	横桁	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工
	復構	塗装工 産産モルタル打替

	A1, A2橋台	P1橋脚
下部工	躯体 ※車道部に計上。	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工

下り車線側歩道部 部材別補修計画

	第1区間	第2区間	第3区間
上部工	地覆	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工 制流防止工	ひび割れ注入工
	主桁	ひび割れ注入工	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工
支承	横桁	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工	ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 断面修復工
	復構	塗装工、ゴム支承取替 塗装工	塗装工

	A1, A2橋台	P1橋脚	P2橋脚
下部工	躯体 ※車道部に計上。	ひび割れ注入工	ひび割れ注入工

車道橋面 部材別補修計画

		第1区間	第2区間	第3区間
橋面	路面	床版防水工 舗装工 段差抑制工	床版防水工 舗装工 段差抑制工	床版防水工 舗装工 段差抑制工
	伸縮装置	伸縮装置取替	伸縮装置取替	伸縮装置取替
	地覆	ひび割れ注入工 断面修復工	ひび割れ注入工 断面修復工	ひび割れ注入工 断面修復工
附属物	防護柵・高欄	防錆処理(Gr基部) すり抜け防止フェンス取替 ボルト取り付け	防錆処理(Gr基部) すり抜け防止フェンス取替 ボルト取り付け	防錆処理(Gr基部) すり抜け防止フェンス取替 ボルト取り付け
	排水施設	清掃	清掃	清掃

上り車線側歩道橋面 部材別補修計画

		第1区間	第2区間
橋面	路面	床版防水工 舗装工 シリコン粘着シート設置	床版防水工 舗装工 シリコン粘着シート設置
	伸縮装置	伸縮装置取替	伸縮装置取替
	地覆	ひび割れ注入工	ひび割れ注入工
附属物	排水施設	取付金具取替	取付金具取替

下り車線側歩道橋面 部材別補修計画

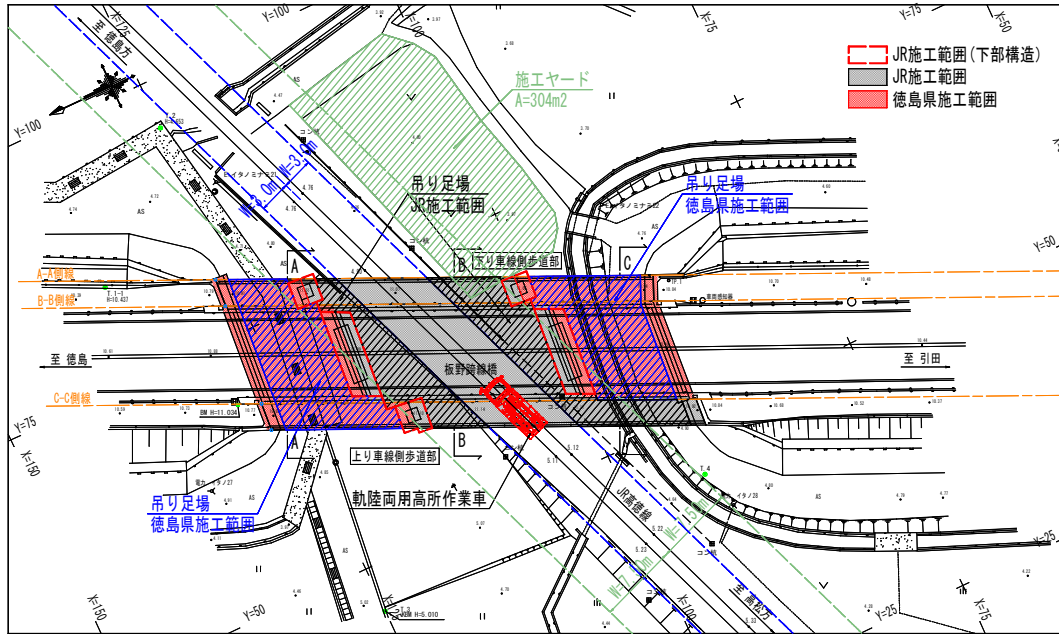
		第1区間	第2区間	第3区間
橋面	路面	床版防水工 舗装工 シリコン粘着シート設置	床版防水工 舗装工 シリコン粘着シート設置	床版防水工 舗装工 シリコン粘着シート設置
	伸縮装置	伸縮装置取替	伸縮装置取替	伸縮装置取替
	地覆	ひび割れ注入工	ひび割れ注入工	ひび割れ注入工
附属物	防護柵・高欄	防錆処理	防錆処理	防錆処理
	排水施設	取付金具取替	取付金具取替	取付金具取替

実施設計図面

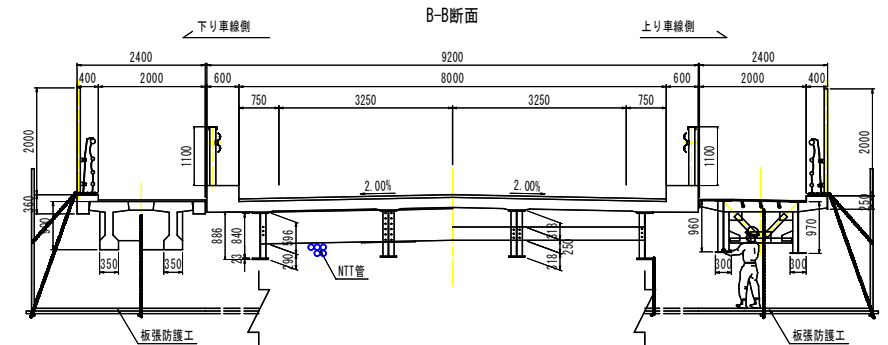
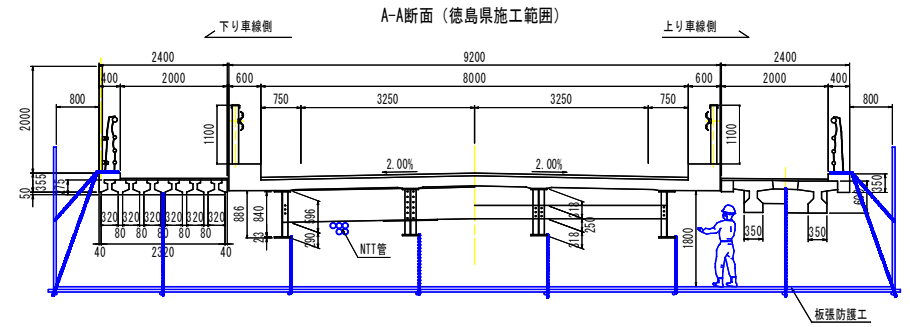
工事名	R2徳島 徳島引田線 飯・川橋 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事場所	飯野郡飯野町川橋(飯野跨線橋)		
図面名	施工計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	14 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

施工計画図(その2)

平面図 S=1:250



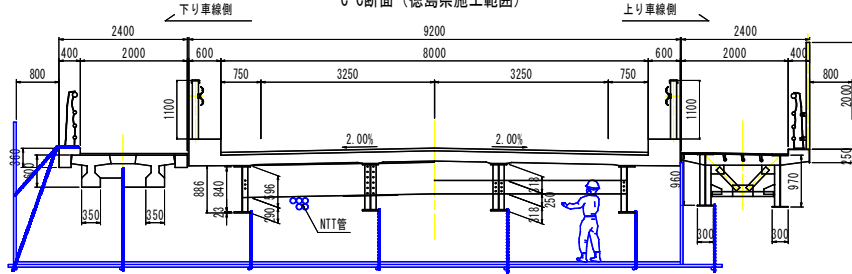
上部工断面図 S=1:50



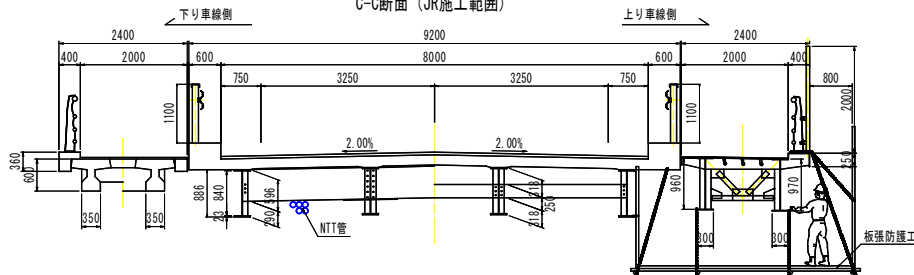
軌道上 レール中心より3.0m以内)は吊り足場は設けず、軌陸両用高所作業車にて補修工事を行う

註) 吊り足場および下部工補修のための仮設足場設置にあたっては、鉄道近接区域にあるため足場の傾倒、および吊り足場上からの落下対策に十分留意すること。

C-C断面 (徳島県施工範囲)

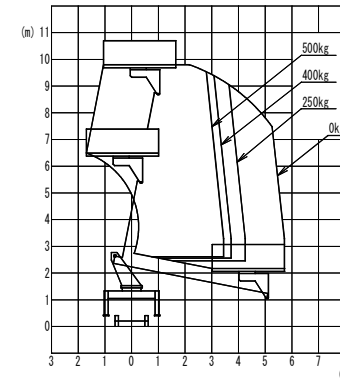


C-C断面 (JR施工範囲)



作業範囲図

ジャッキ未接地 側方
 カント20mm以下：狭軌
 カント28mm以下：標準軌



※図方での作業範囲を示す。

実施設計図面

工事名	R2徳土 徳島引田線・川端 橋梁補修工事		
路線名等	徳島引田線		
工事箇所	板野郡板野町川端(板野跨線橋)		
図面名	施工計画図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 15
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		